

香川の水資源



水は、私たちの生活に欠くことのできないものであり、農業や工業など様々な産業活動を支える大切な資源です。

香川県では、雨が少ないうえに、川は短く流れも急なため、昔から度々渇水に悩まされてきました。このため、古くは私たちの先人が満濃池をはじめ1万4千余のため池を築造し、近年ではダム開発を進めるなど、水の確保に腐心してきました。中でも、昭和49年に吉野川から香川用水が導水されたことは、本県の水事情を飛躍的に改善するものでした。

本県では、これまで「香川県長期水需給計画」や「香川県総合水資源対策大綱」を策定し、それぞれ見直しを行いながら、「渇水に強い県づくり」を目指し、様々な水資源対策を進めてまいりました。

近年の経済成長の停滞や人口減少など社会経済情勢の変化の中で、水を取り巻く現状などを踏まえた水資源対策を推進するため、専門家や各界の代表者で構成する「香川県水資源対策懇談会」をはじめ、県民の皆様や県議会のご意見を伺いながら、本県の今後の水資源対策の基本指針となる「香川県総合水資源対策大綱2011」を策定いたしました。

この大綱においては、「安心して暮らせる水循環社会をめざして」を基本目標とし、「安定した水資源の確保と供給」、「水を大切にできる社会への転換」、「水環境の保全」、「渇水・緊急時の水確保」を目標実現のための基本方針として位置づけています。

本書は、「香川の水を取り巻く現況」を概括してうえで、「香川県総合水資源対策大綱2011」を掲載しており、参考資料には、本県の長期的な水需給を推計した「かがわの水需給」(抜粋)などを併載し、本県の水資源に関する事項を網羅的にまとめたものとなっています。

この「香川の水資源」を通じ、県民の皆様や関係機関の方々に、本県の水事情や水資源対策の取り組みについての理解が深まれば幸いです。